

## 2013年TDA 秋のセミナー・レポート

2013年11月16日(土)13:30～「テキスタイルメーカーのチャレンジ」をテーマに秋のセミナーが開催されました。今回はHINAYA KYOTO 代表 伊豆蔵直人氏とフリーライター&広告アドバイザーの南光浩氏をお迎えして、ざっくばらんなトークで解り易く楽しいお話をして頂きました。

先代明彦氏は探究心が強い方のように現状におぼれることなく他とは違うものづくりを常にされていたそうです。織物の源流をたどった独自の研究からの商品開発や自然素材にこだわった、和装以外の商品開発をされ、テキスタイルメーカーとして生地販売だけではなく製品製造・卸・小売へとチャレンジしていかれました。現在、百貨店では当たり前になっているプロモーション販売を当時から行い、いち早くスローライフや自然素材のライフスタイル提案をされていました。

1994年、現在の取締役社長の直人氏が入社されてからは、百貨店販売にこだわらず、カタログ販売等の新たな販路を開拓され2008年代表就任後は、テキスタイルメーカーとして海外へのアプローチや直営店「HINAYA KYOTO」を2011年にOPENされました。自社製品だけでなく、エディットした商品やアーティストや作家の個展、テキスタイルマルシェのように場を提供している場としてお客様が求める場所を幅広く発信提供されています。

自社ブランドmitasu+では現代社会においてフォーマルな着方だけでなく、着る人が好きなようにコーディネートする日常着、お洒落にファッションとしての洋服との根拠をこえた着物の提案をされています。

南氏からは、事務局も動められているテキスタイルマルシェ等のお話がありました。テキスタイルマルシェはデスクトップの生地をお持ちのメーカーや工場と組んで行う産地直送の生地販売会です。かわった生地も多く、主にモノ作りをしている方、デザイン関係の学生、若手デザイナー等が来場し、最近是人が人を呼び同業者の方達の来場も増えてきたそうです。その後の交流会も大いに盛り上がり、それを目的に遠方からもたくさんの人達が来られるそうです。

これからとしては、リサイクル、リデュース、リユースの3Rやフェアトレードを意識した倫理的に正しいものづくりの提案、場の提供をされているそうです。その中で「京都エコマネー」活動の衣料回収窓口としてHINAYAも参加されています。1人3点まで自由に持ち帰り出来る無料頒布会を開催されとても好評だったそうです。

テキスタイルに携わるもの一人としてリサイクル、リデュース、リユースの3Rやフェアトレードを意識した提案は大変興味深いお話でした。

15:30～と17:00～の2回のワークショップでは「spoken words project」主催でもある、デザイナー飛田正浩氏を迎えシルクスクリーンでの手拭い作りをしました。予定時間は各1時間だったのですが、TDAの会員皆様やればやるほど熱が入り予定時間を大幅にこえての作品作りでした。とても良い経験で楽しい時間でした。

その後18:30～の京居酒屋「Sherry」での交流会もセミナーやワークショップで話されない話の他、いろんな話で盛り上がり、こちらも予定の時間を大幅に超えて無事終了いたしました。

最後に今回興味深いトークショーをいただいた伊豆蔵直人氏、南光浩氏、楽しいワークショップをいただいた飛田正弘氏、スタッフ三橋様、HINAYA KYOTOのスタッフの皆様、お世話になり本当にありがとうございました。



兵庫県の北播磨地域に展開する播州織は明治維新の時代から綿布業の企業地として始まる。昭和の時代には業者数270軒織機台数8300台を数えるほどの産業地域として発展し、黄金時代を迎える。第二次世界大戦後は高級綿布生産の方向性のもと、アメリカ市場開拓を皮切りにカナダ、オーストラリア、中南米、アフリカ、欧州の一部に販路を拡大し、全世界市場を商圏とした第二次黄金時代を築いた。昭和40年代には力織機から革新織機に移行し、現在では新商品の開発に取り組み、ファッション・テキスタイルの最新情報を発信できるような創造性豊かな産地づくりに努力されている。

この度、西カルチャー&コミュニケーション部会による繊維産業の現場を見て・現場を知り・そして学ぶ機会として、国内最大の先染綿産業の産地見学を行った。今回の参加者は会員13名、非会員2名、合計15名にて見学会を実施した。



今回の見学会は四カ所の見学先を訪問し、非常に盛り沢山な内容であった。東播染工株式会社、岡治織物、播州織工業協同組合の三カ所の見学先に関しては播州織物の生産工程を見て知ることができ、大変有意義な時間でした。また、門脇織物株式会社ではハンドメイド感のある生産を見ることができ、新しい播州の顔を発見できた。実際、足を運び現場を見ることで、改めて日本のものづくりの良さを知ることができた見学会であったと同時に、参加者のみなさまにおかれましては今後の活動のための貴重な時間となったことと思っております。

この度の見学会のコーディネートをしていただいた北播磨地場産業開発機構の専務理事足立様、TDAの国米様には大変感謝しております。また、雨の降る中、ご参集していただいた参加者のみなさまとともに見学会を行えたことも心から感謝しております。

(文責：田中孝明)



## 大阪染工株式会社工場見学を終えて

「西日本地場産業を知る」を目的に、去る2013年10月16日(水)大阪府三島郡にあります、大阪染工株式会社様におじゃまさせて頂きました。場所としては、JRで山崎駅から大阪へ30分京都へは15分で阪急大山崎駅も近くと言う便利な場所です。大阪染工株式会社は、綿・綿合混織物およびニットの晒、染、プリントから各種仕上加工を総合的に行う染色加工会社です。